

歯科医療提供体制維持に向けての中国5県調査

～中国5県歯科医療機関分布に関する未来シミュレーション～

○澄川裕之¹⁾・池田実央¹⁾・石戸善一郎¹⁾・森本徳明¹⁾・山中友之¹⁾・末森一彦¹⁾・檜谷邦茂¹⁾²⁾
¹⁾中国地域歯科医療管理学会 ²⁾一般社団法人小さな拠点ネットワーク研究所

背景/目的

- 地域住民の生活を守る安心・安全な歯科医療の安定供給
- 歯科医療の将来の需給状況を正しく予測する必要性
- 中国地域5県で調査をすることで、県境を越えての状況を確認
 - 各県における歯科医療提供体制維持対策
 - 隣県との解決策を探る際の基礎資料
 - 将来の歯科系の学生教育の基礎資料

対象と方法

- 一次生活圏を視野に入れた推計人口データに、歯科医療機関の所在地と開設者の年齢データを重ね合わせ、地図上に落とし込み可視化
- その10年後を予測したデータを作成して地理情報を分析
- 地区(町丁目)の人口重心から半径4km以内での歯科医療機関の有無で地区ごとに集計 ※町丁目＝行政区分の最小単位。例)「新宿3丁目」「恵比寿1丁目」
- 中国5県の中山間地域を中心とした歯科医療提供体制の状況、無歯科医地区の予測



結果① 全年代

中国5県 17,430地区(町丁目)を対象

	2025(R7)	2035(R17)	増減
総人口(推計)	6,972,555人	6,429,794人	-542,761人
受療困難地区	2,374地区	3,339地区	+965地区
受療困難人口(推計)	227,524人 (人口比 3.26%)	310,765人 (人口比 4.83%)	+83,241人

2025(R7) 推計					
受療困難地区数	(割合)	人口(推計)	受療困難人口(推計)	(割合)	
鳥取県	535 21.56%	527,054	26,068	4.95%	
島根県	354 26.09%	639,745	58,207	9.10%	
岡山県	684 13.04%	1,832,750	38,397	2.10%	
広島県	343 8.06%	2,704,327	51,472	1.90%	
山口県	458 11.21%	1,268,679	53,380	4.21%	
中国5県	2,374 13.62%	6,972,555	227,524	3.26%	

2035(R17) 推計					
受療困難地区数	(割合)	人口(推計)	受療困難人口(推計)	(割合)	
728	29.33%	478,950	39,607	8.27%	
471	34.71%	581,587	77,449	13.32%	
1,076	20.51%	1,713,409	62,198	3.63%	
505	11.86%	2,526,201	77,545	3.07%	
559	13.68%	1,129,647	53,966	4.78%	
3,339	19.16%	6,429,794	310,765	4.83%	

結果② 75歳以上

中国5県 17,430地区(町丁目)を対象

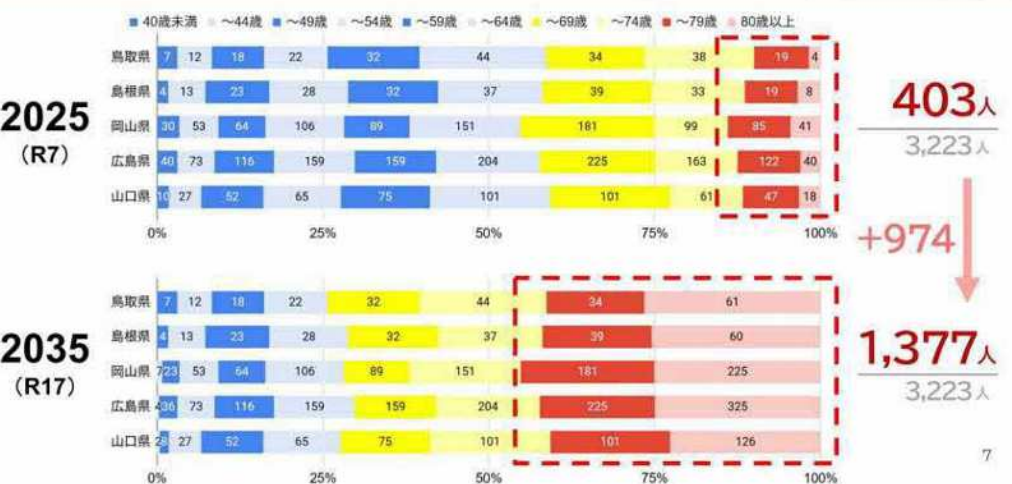
	2025(R7)	2035(R17)	増減
75歳以上人口(推計)	1,367,816人	1,382,458人	+14,642人
75歳以上受療困難人口(推計)	73,677人 (人口比 5.39%)	113,600人 (人口比 8.22%)	+39,923人

2025(R7) 推計					
受療困難地区数	(割合)	人口(推計)	受療困難人口(推計)	(割合)	
鳥取県	535 21.56%	103,951	7,715	7.42%	
島根県	354 26.09%	135,360	17,817	13.16%	
岡山県	684 13.04%	348,784	12,436	3.57%	
広島県	343 8.06%	500,922	16,768	3.35%	
山口県	458 11.21%	278,799	18,941	6.79%	
中国5県	2,374 13.62%	1,367,816	73,677	5.39%	

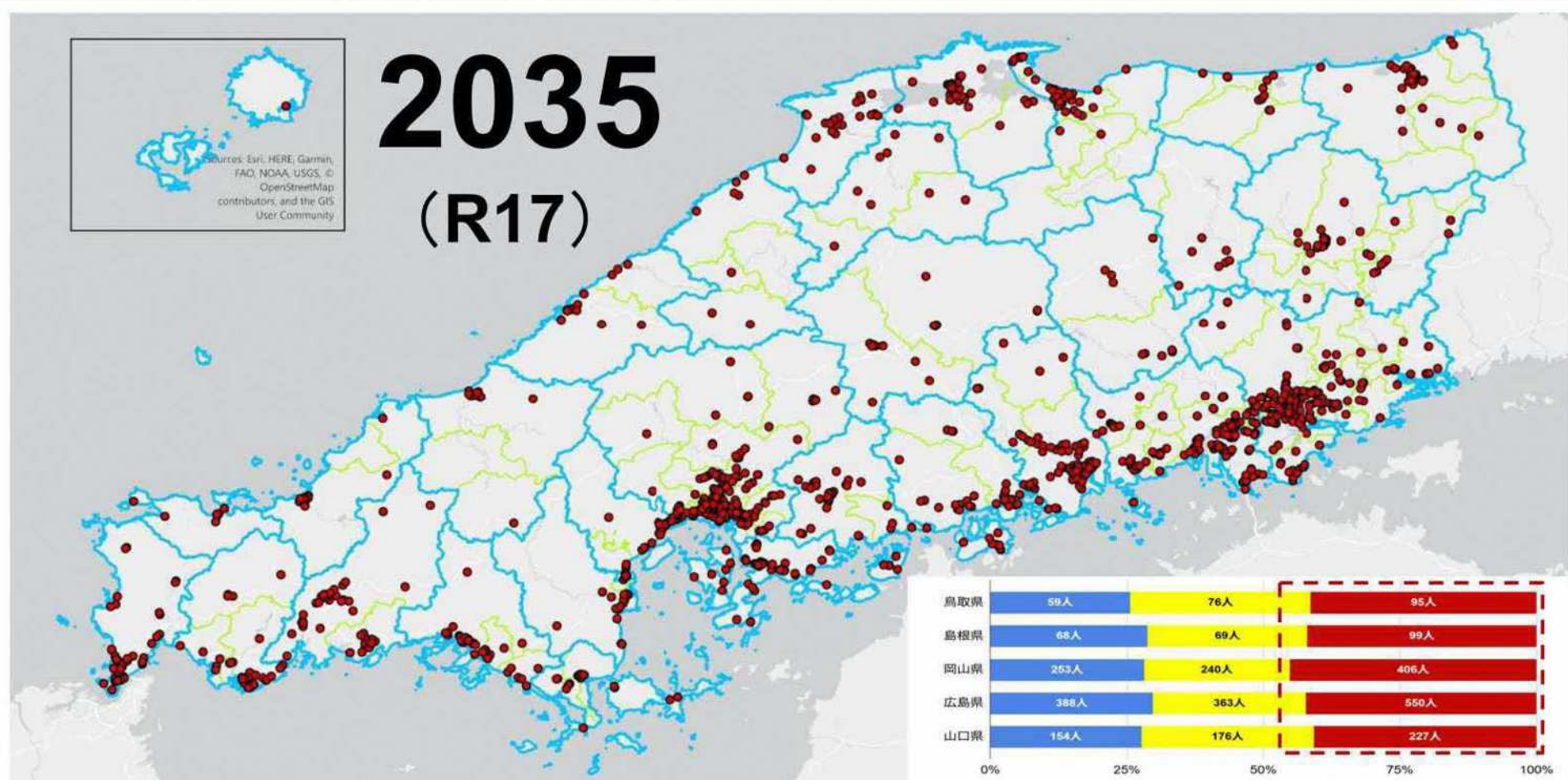
2035(R17) 推計					
受療困難地区数	(割合)	人口(推計)	受療困難人口(推計)	(割合)	
728	29.33%	111,395	13,690	12.29%	
471	34.71%	136,289	26,066	19.13%	
1,076	20.51%	353,106	22,600	6.40%	
505	11.86%	508,011	28,885	5.69%	
559	13.68%	273,657	22,359	8.17%	
3,339	19.16%	1,382,458	113,600	8.22%	

2035年 歯科医師の年代 (県別 5歳刻み)

調査時点での各県歯科医師会の会員を対象として作成。新規開業・承継は考慮していない。



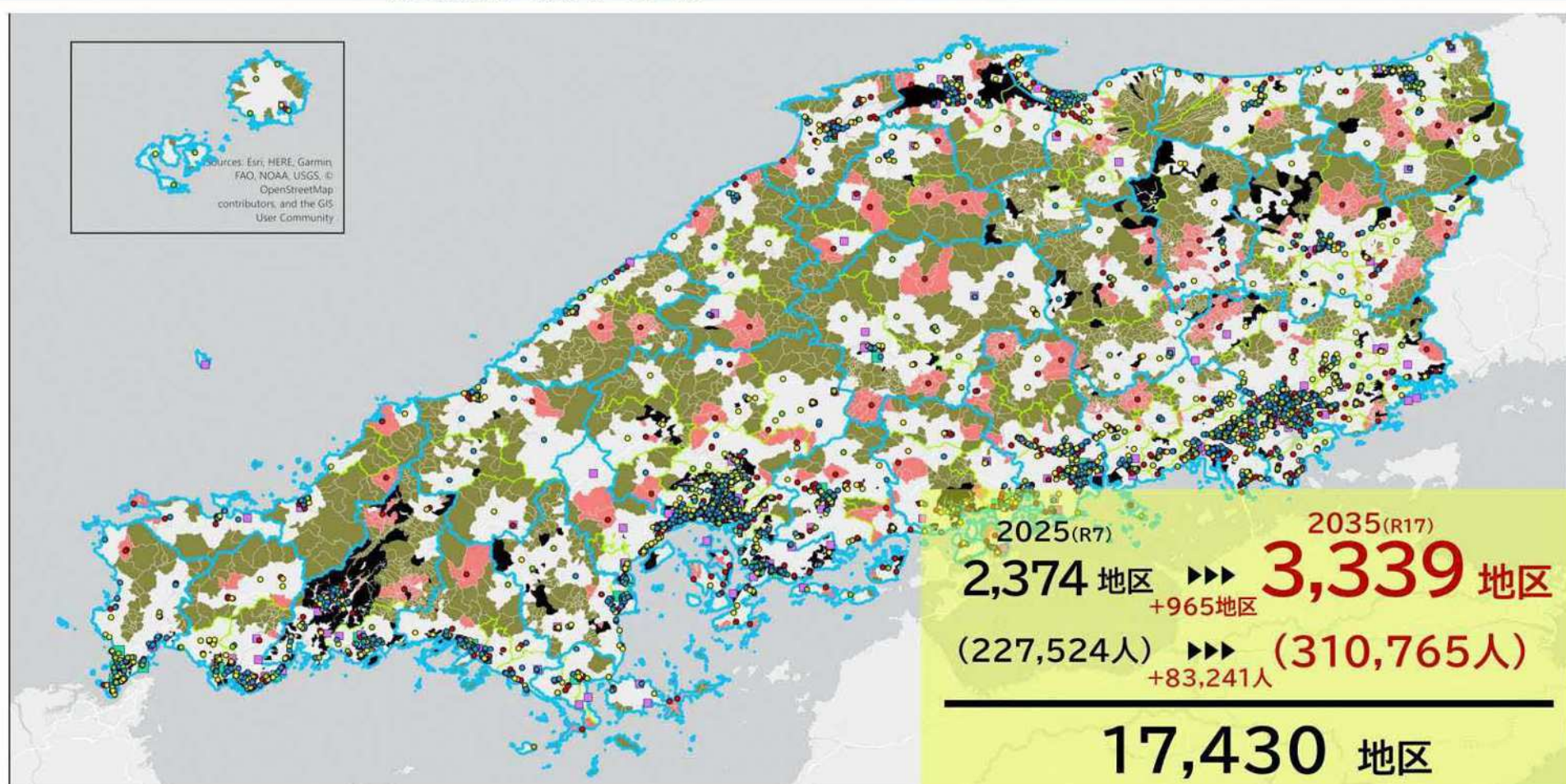
歯科医師の高齢化（中国5県 ● 75歳～ のみをプロット）



11

2035年 受療困難地区 (受療困難人口)

■ 2025年時点の受療困難地区
■ 2035年に新たに受療困難地区となる地区
■ 人口ゼロ



12

考察

- ① このままでは中山間地域において歯科医療機関の閉院が比率的に多いことが地図上に示された。
- ② 開設者の年齢データを使用しているため、承継者がいることも考えられるが、中山間地域の承継は困難な様子が伺える。
- ③ 中山間地域では歯科医師の高齢化と同時に受療者の高齢化も進み、受療困難者が増加するため、現在の歯科診療の枠組みでは世代交代・事業承継による維持は困難と思われる。

結論

増え続ける受療困難者に対応すべく
歯科医療供給体制を

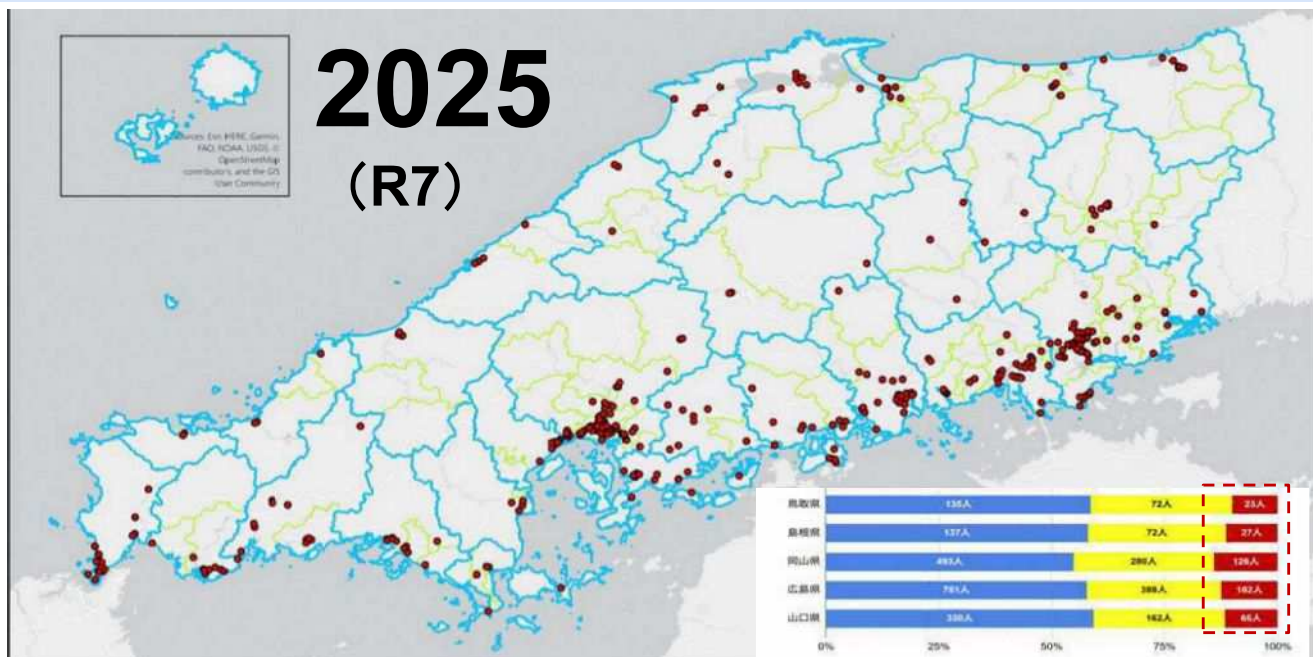
制度と運用の両面から**再構築**する必要がある。

個人開業の限界。個人開業にできないのなら行政。しかし、地方行政も限界。

どうする？

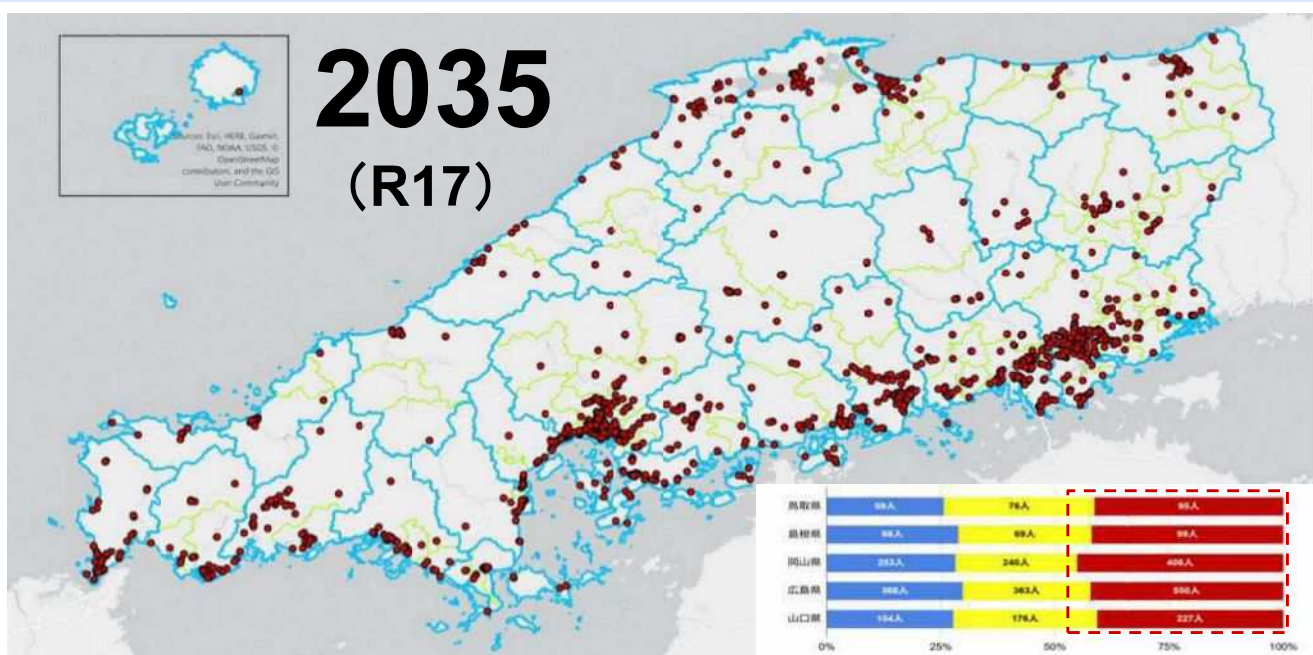
- へき地・離島 歯科医療への制度整備
- へき地病院歯科の有効連携
- 中山間地域の診療所への直接支援
- 移動診療車の有効活用に向けた法整備

歯科医師の高齢化（中国5県 ● 75歳～ のみをプロット）



10

歯科医師の高齢化（中国5県 ● 75歳～ のみをプロット）



11